

「いじめストップリーダー研修」に参加して

3年1組 平野琴美

生徒会執行部の3年1組 平野琴美です。

私は、昨年8月に泉ヶ岳で行われた「いじめストップリーダー研修」に参加しました。

仙台市内の中学生と一泊二日の研修をとおして「いじめ」について考えました。研修では、いじめのパターンに沿ってどのような解決策があるかグループで考え、いじめ人、いじめられる人、傍観者の役になりきり劇にしました。この中で重要なのは傍観者だという事も分かりました。周りで見ている人がいじめられている人を助けなければなりません。傍観者はただ見ているだけではなく、いじめられている人の味方になってあげたり、いじめている人がなぜいじめているのだろうと気持ちを分かってあげたりすることによっていじめがなくなるのかもしれない。

いじめは絶対に許してはいけないことです。相手の気持ちをしっかり分かってあげる事、困った事があれば親、担任の先生、カウンセラーの先生、信頼できる友達に相談することも大切です。今日から5月の「いじめ防止きずなキャンペーン」が始まります。いじめについてみんなで改めて考えてみましょう。

「いじめ防止きずなサミット」に参加して

2年1組 中村夏実

2年1組の中村夏実です。私は昨年の12月に行われた「いじめ防止きずなサミット」に参加しました。仙台市内の中学生と「いじめを見て見ぬふりをしない」ということについて話し合いました。

私はサミットに参加していじめを見て見ぬふりをしている「傍観者」は、いじめを受けている人からするといじめをしている人と同じく感じられるということを改めて知りました。

私が参加した班でも様々な意見が出され、今回の話し合いのテーマについてとても話し合いが深まりました。しかしそれぞれの過去や現在を話すことがつらいものであり、それぞれの心にはいつまでも深い傷が残るのだととても強く感じました。だからこそ松陵中から心に傷を残す「いじめ」をなくしたいなと私は思いました。いじめを絶対しない、いじめを見た時は見て見ぬふりをしない、私たち一人一人がアクションを起こしていきましょう。